

雰囲気再生装置の開発

浸炭炉におけるRガス使用量半減

雰囲気再生装置開発への取組

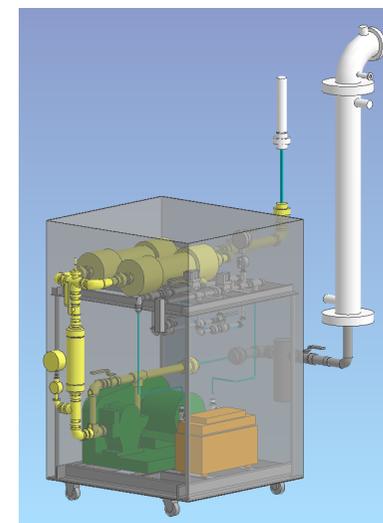
- 従来の熱処理方法の常識を見直し、浸炭処理におけるガス量の削減を目指し、雰囲気再生装置を開発。

雰囲気再生装置の導入効果

- CO2排出量の低減(炉内からの排出1/2)
- ランニングコストの低減(Rガス消費量1/2)
- 製品品質の安定化(雰囲気濃度変動抑制)

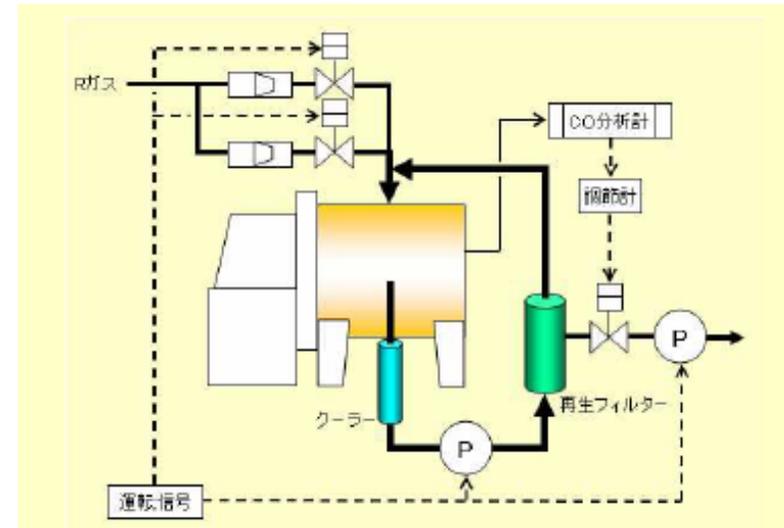
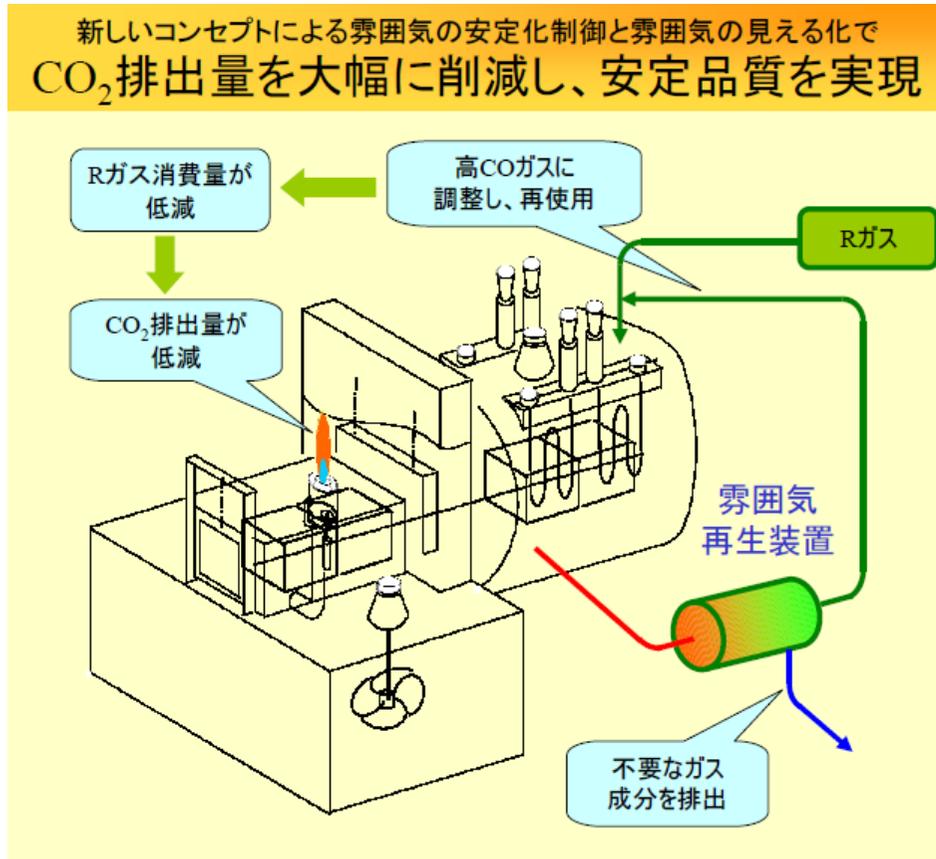
雰囲気再生装置の能力・処理材品質

- 雰囲気浸炭処理中に使用するRガスを大幅に減少しても炉内雰囲気は安定して制御可能で、浸炭能力についても従来と遜色はない。



雰囲気再生装置
(外観)

雰囲気再生装置の概要



- 雰囲気再生装置は、拡散期に作動。
- 炉内のCO濃度を測定して、水素排出量をコントロールすることにより、少ないRガスで安定した炉内雰囲気を作る。
- 雰囲気再生装置はランニングコストの低減だけでなく、地球環境保護にも寄与。